

カヤノミカニモリの生息調査と季節移動

熊本県立苓洋高等学校 科学部

1 目的

- (1) 天草郡苓北町全域と五和町通詞島における生息調査を行う。
- (2) 暑さ回避のための季節移動について調べる。

2 調査方法

- (1) 生息調査

苓北町の海岸全域と五和町通詞島で生息状況・特徴・様子を調べる。

- (2) 季節移動

油性ペンキで、5色各100個体に色を付け、季節移動について調べる。



【図1】生息調査結果

3 結果

- (1) 生息調査

苓北町全域と五和町通詞島の海岸で生息調査を行った。図1、表1は、その結果をまとめたものである。江理海岸には、1000個体を超える際立って多くの生息が確認された。

【表1】苓北町周辺と五和町通詞島における生息調査結果

場所	調査日	生息の有無	生息状況	個体の特徴	海岸の様子
1 苓北町富岡白岩崎	4月14日(月)	×	生息なし		外洋 岩礁、乾石、藻類・フジツボの付着なし 小石、砂利 波が荒い
2 苓北町富岡江理海岸	4月15日(火)	◎	多数生息 (1000個体以上)	大小混在 太い・細い 個体差大	外洋 岩礁、乾石、藻類・フジツボの付着あり 小石、砂利 波が荒い
3 苓北町富岡拓洋寮裏	4月15日(火)	○	少数 (岩礁に2個体)	幅が広く、先がとがっている	外洋 小石、乾石、砂利、岩礁 波が荒い
4 苓北町坂瀬川おっぱい岩付近	4月25日(金)	○	少数 (100個体未満)	大小混在	内湾 広い岩礁 アオサが付着 波は穏やか
5 苓北町坂瀬川物産館付近	4月25日(金)	×	生息なし		内湾 岩礁 アオサ・フジツボが付着 波が荒い
6 通詞島	4月25日(金)	◎	多数 (100個体以上)	丸みを帯びた大きい個体が多い 殻の色が白と黒の2色のものが目立った	内湾 岩礁 藻類・フジツボの付着あり 潮流が強い
7 苓北町富岡曲崎内湾	5月2日(金)	◎	多数 (100個体以上)	大小混在	内湾 砂利、乾石、人工の石段 波は穏やか
8 苓北町富岡曲崎外湾	5月2日(金)	×	生息なし		内湾 岩礁、乾石、藻類・フジツボの付着なし 砂利 波は穏やか
9 苓北町年輪北火電横	5月3日(土)	◎	多数 (100個体以上)	全体的に丸い	外洋 堤防の内側 藻類の付着あり 岩礁、乾石 波は穏やか
10 苓北町船島々	5月3日(土)	×	生息なし		外洋 岩礁 藻類の付着なし 大きな岩石 波が荒い
11 苓北町四季崎岬	7月17日(木)	◎	多数 (100個体以上)	太い	外洋 岩礁、乾石 藻類・フジツボの付着あり 潮流が強い

- (2) 季節移動

江理海岸の5か所で、螺塔から2/3程度に油性ペンキでマーキングを施し、夏の季節移動について調査を行った。表2は、マーキングした個体の確認を行った結果である。6月中旬～9月上旬にかけて確認できた個体数は着実に減少したが、9月下旬には再び多くの個体を確認することができた。

【表2】マーキングした個体の確認

地点	色	5/28	6/3	6/12	7/1	7/15	7/24	8/11	9/9	9/26
A	赤	100	68	27	23	18	9	3	1	12
B	黄	100	52	19	38	14	4	2	1	10
C	白	100	60	16	23	8	2	5	1	12
D	青	100	55	28	28	24	4	13	10	25
E	緑	100	64	28	44	23	7	10	12	43

また、堤防壁に目印を付け、各地点と移動距離について計測を行った。表3は、その結果をまとめたものである。徐々に潮間帯の上部から中部のほうに移動しているといえる。

【表3】マーキング個体群の生息地点

地点	色	5/28	6/3	6/12	7/1	7/15	7/24	8/11	9/9	9/26
A	赤	32.6	33.6	33.3	37.1					
B	黄	32.5	25.9	25.0	26.0					
C	白	32.5	34.6	33.0	37.8					
D	青	31.5	33.0	31.4	34.2					
E	緑	30.0	30.0	34.7	36.9					

16m～26m地点に群生

4 まとめ・考察

苓北町では江理海岸の他に苓北火電横、曲崎内湾、四季崎岬、五和町通詞島の限られた一部にそれぞれ100～1000個体を超える個体数の生息を確認することができた。また、今回の調査で人口の石段で生息が確認された。岩礁海岸以外での生息が確認されたのは有意義な発見だった。

季節移動については、暑さ回避のために季節移動したと考えられる。マーキングを施して個体数確認を行った結果と生息地点の計測結果から、カヤノミカニモリが夏場の暑さを回避するための行動として季節移動を行うことが証明された。鹿児島大学リポトリ論文では、夏場陸側に生息し冬場海側に移動すると記されていたが、江理海岸では冬場陸側に生息し夏場海側に移動していることが分かった。